

Conquest



ADULT ONLY



カレンは必ず助け出すっ！
それでいいだろう……！



失態だな ルルーシユ
カレンを捕虜にされるとは……

ほおあッ！

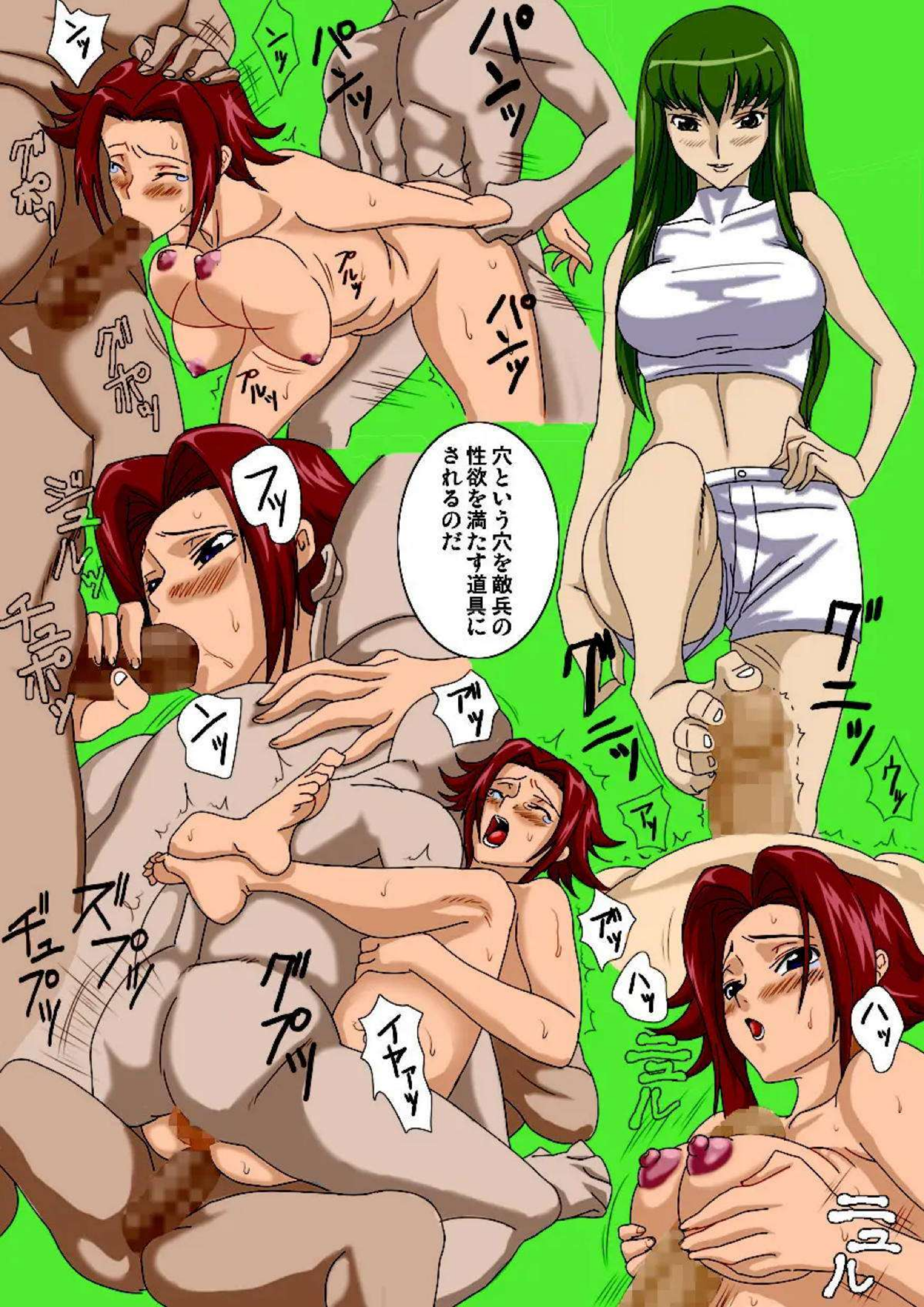
キッ！

それが許しを乞う者の
態度か？



Snake335





穴という穴を敵兵の
性欲を満たす道具に
されるのだ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンツ

パンッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

それともあのオデュッセウスとかいう男の
情婦として慰み者にされるかもな

君たちのおかげで
♀女と結婚しそびれたから
責任取ってもらおうよ？

カレンがあんな凡庸な男にっ？
ありえんっ！

ああいう男の方が時間をかけて
女を落とすそじゃないか



自分の大事な部下が
憎いブリタニア皇帝の息子のものに
なるのは屈辱だろう？





黒の騎士団のエースといっても
裸に剥かれてしまえば
ただの女だ

あっ！

心では拒んでも
体は十分に男を受け入れられる



んっ！



尻を高く突き出す
姿勢をとらされ
露になった女の部分を
執拗に弄ばれ...

んっ！

んっ！

膣内に侵入した指の動き
ひとつひとつに声を押し殺しながらも
敏感に反応し始める

んっ！

君のここ、すごく濡れてるよ
ほら 聞こえるだろ？

自分の恥部を掻きまわす音で
羞恥心を煽られた
カレンの肉体はさらに
敏感なものになり
容易に絶頂へと昇りつめていく

あっ
ふあっ
…はっあっ

いやっ



あっあっあっ！

あっ！

モ
ル
ッ

あっ！
あっあっ！

いやっ…あっ
イク…っ！
イっちゃうっ！



指じゃ
イカせないよ？

あ…っ
く…っ







あっ!

もうダメ……っ!

あっ!



あ……っ!

あっあっ!



ヒクッ

立て続けに押し寄せてくる快感に
耐え切れず腰を浮かせて
歓喜の悲鳴を上げる…

ダメ……っ!

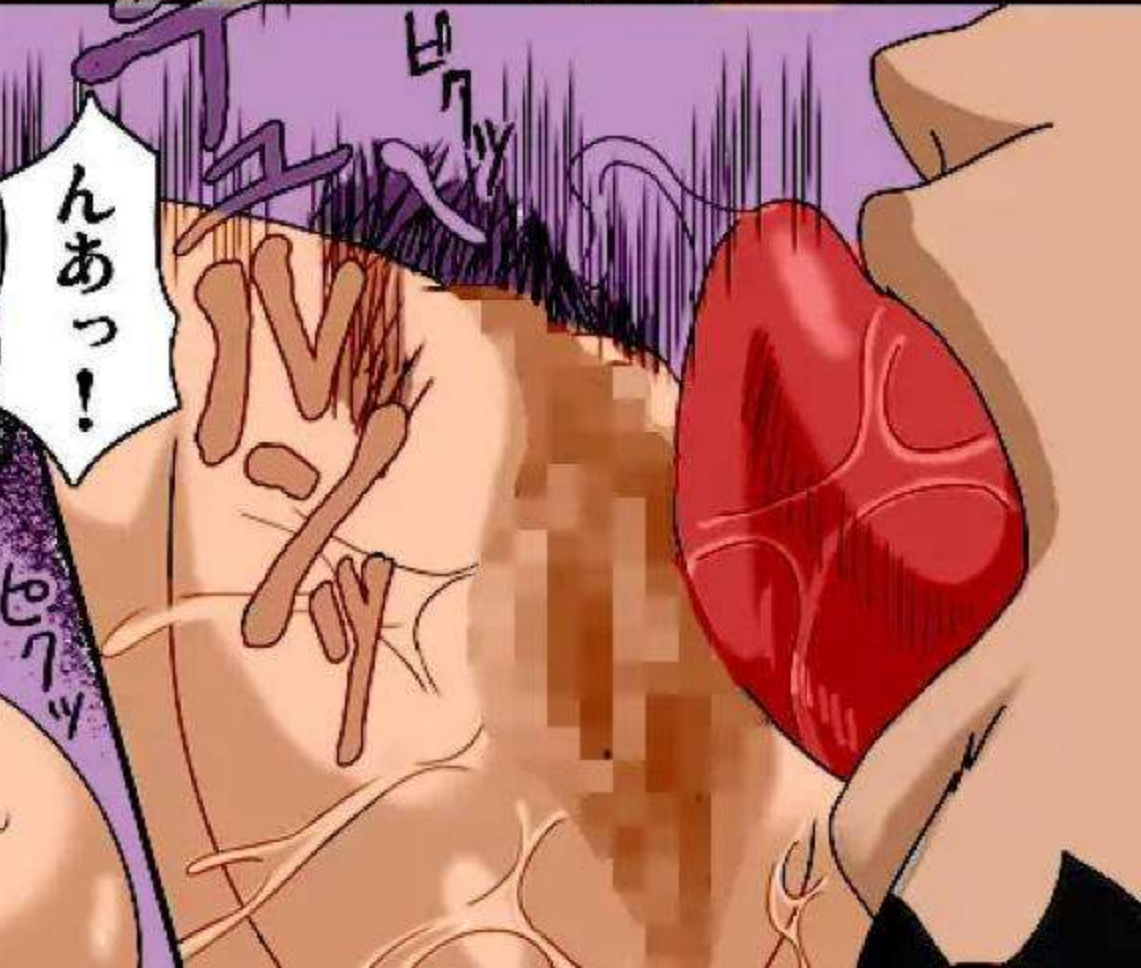


グチャ
グチャ
グチャ



う……っ
あ……っ

イカせて欲しかったら
どうすればいいか
分かるよね?



んあっ!



我慢の限界に達したカレンは
お前とのキスを拒んだその口で
オデュッセウスのモノに
奉仕するだろうな

何故それを知っている!?



私を甘く見るな
それぐらいの察しはつく

んっんっ



一度相手の言われるがままに
なってしまえば
もう後戻りは出来ない...
ヒクつく肛門を覗かれながら
イカせてもらうために夢中で
チンポをしゃぶるただの小娘に
成り下がるだけだ...



フフ...
想像して興奮したか?
雫が溢れてきたぞ?





粗末なモノをこんなにいきり立たせて...
オナナを知らない童貞坊やは想像力豊かだな

あ...あ...っ!
もう...っ!

まだイクな

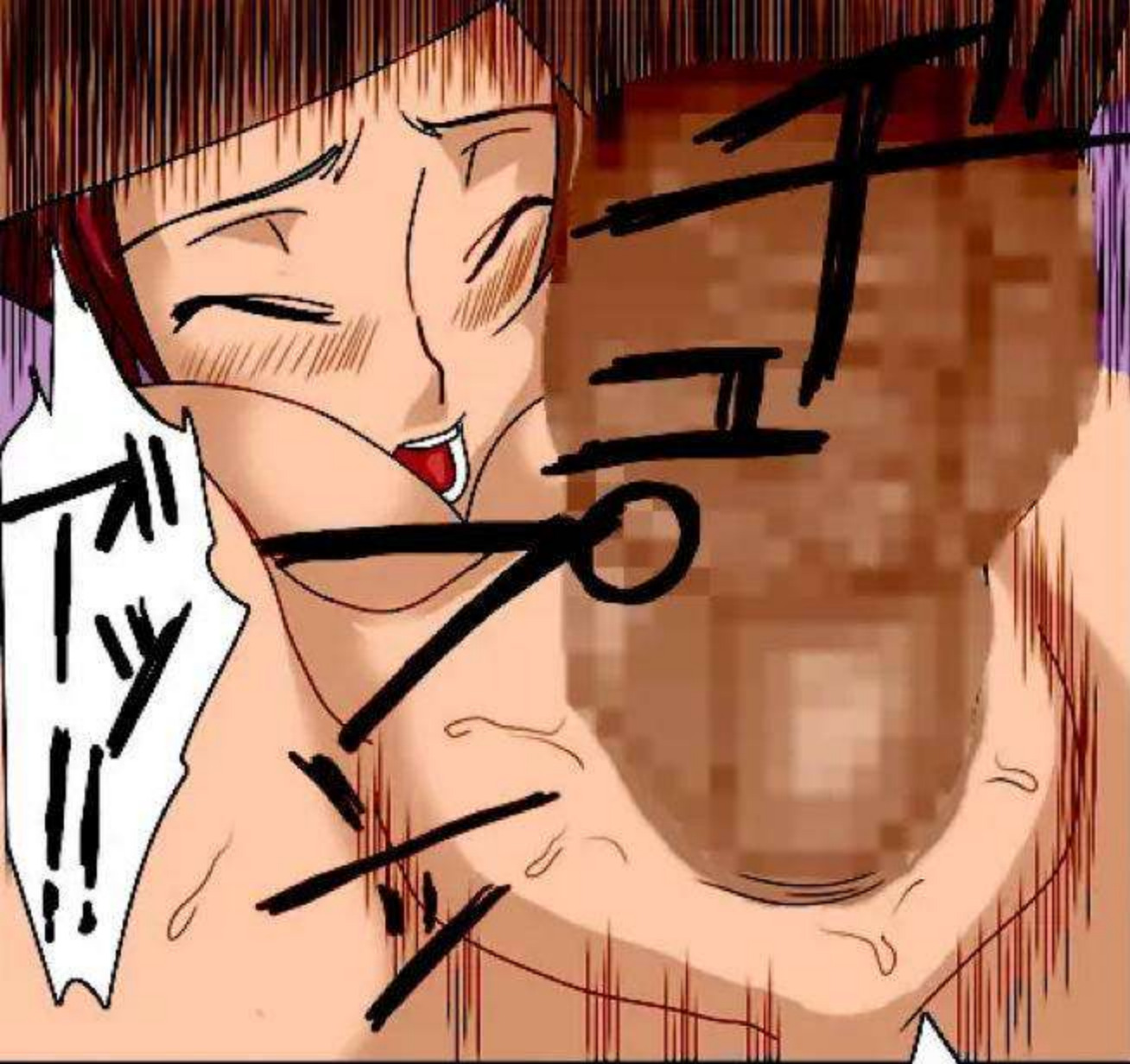
うあっ!



どうだ? イキたくてもイカせてもらえない気分は...
こうすればカレンのような女でも心が折れて自分からおまんこを広げて懇願するようになる

お...お願いです...っ
イカせて下さい...っ!
もう おまんこ我慢できない...!

くほあ



待ち焦がれていたモノを一気に挿入されたカレンは敵であるはずのオデュッセウスの腕の下で快感にのた打ち回る
大きく傘を張った亀頭が女の穴を押し広げ
膣奥へと掻き進んで
カレンを絶頂へ追い込んでいく

あっ!
あああああっ!

や...っあっ!
大き...っ!
い...っあっ!

はあ...っ!
ん...あっ!

あっあっ!
あっ!

キュッ

キュッ

キュッ

キュッ

キュッ





ニユルツ

ニユルツ



二つに折り曲げられた体を
太い肉茎が貫き
隆髪を掻き分けて
さらに深く潜り込んでいく

あっ！

はあっ！

やっあっ！

すこ...っ！



カレンは呆気なく
征服される

あああああっ！

あっ！

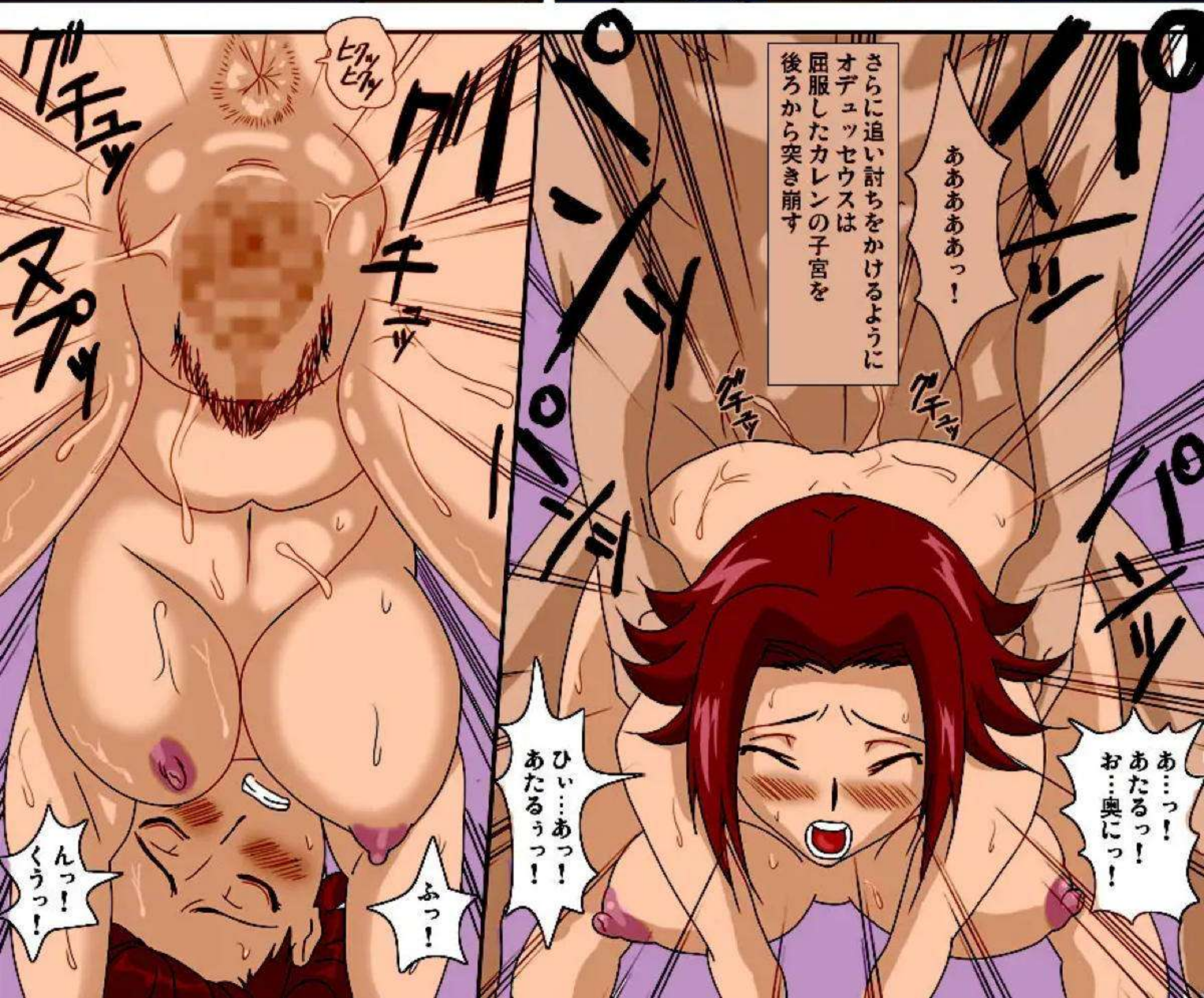
肉体の奥底から
こみ上げてくる
アクメの波に
身を震わせて

あっあっ！
だめっ！

私...もう...っ！

イ...イクツ！
イツちゃうっ！
あっあっ！
イクツ！

モウウウ





あ...

もう許して...

あっ!

グイッ

キュッ

はあん!

屈辱と快楽を刻み込まれて
脱力したカレンを征服者は
当然の権利だと言わんばかりに
力づくでもぎ取った果実のように
無遠慮に食い荒らしていく



やあっ!
あっあっ!

激しくしないでっ!

おまんこ
壊れちゃうっ!

ズッ

ズッ



あっ！

カレンは下から
激しく突き上げられながら

勃起した肉芽を
指で弄ばれ

あっ！
だめっ！

今そこ触っちゃ
だめえっ！

とと
とと

あっ！

や...っあっ！
イクツツ！

為す術も無く
二度目の絶頂へ押し上げられる

クチュツ

クチュツ

またイクウツ！

ヒッ
クウ

ヒッ
クウ

たくましいピストン運動で
何度も絶頂を味あわされ
身も心も蕩けたカレンは
恋人同士と愛を確かめ合うように
オデュッセウスの体にしだれかかり

ん...っ

ん...っ

自分から舌を絡めて
唾液を交換しあう

ふうん...っ





は…っあっ

んっ!

んっ!

うんっ!
ふ…っんっ!
んっんっんっ!

あっあっあっ

うんっ!

ふうんっ!



こんな…っあっ
私…こんなの初めて…っ



は…っあっ!
あんっあっ!

す…っおっ
あっ!



あのカレンが...っ!
いくら体を汚されても
心まで簡単に
奪われるはずがないっ!

ほう...
本当にそう思うか?

フチュッ
フモッ
フモッ
フモッ

う...っ
あっ!



肉体は心への入り口なんだよ
ルルーシユ...

自分の最も深い部分にまで
男を受け入れて
もはや他人同士ではなくなった時の
女の変わり身の早さはすごいぞ?

ほぐれた膣壁を絶えず掻きまわされれば
ゼロに抱いていた忠誠心も憧れも消え失せて
お前が見たことも無いような表情で
女の悦びに酔いしれるようになる...

黙れ...っ 魔女!

ヒクッ
ヒクッ

クチュッ
クチュッ

あ……っや……っ!
腰が勝手に……っ

あ……っ

例え心で否定してもカレンの体は
快楽を与えてくれる逞しい男の精を求めて
浅ましく蠢き始め

はあ……あっ

あ……あ……あ……

はあん……っ

クチュツ

クチュツ

クチュツ

クチュツ

クチュツ

クチュツ



あ……!

モッ

クチュツ

クチュツ

排泄器官であるはずの
肛門への愛撫でも
感じてしまう体に
作り変えられていく

そこは
だめ……っ!

あ……!

クチュツ

クチュツ

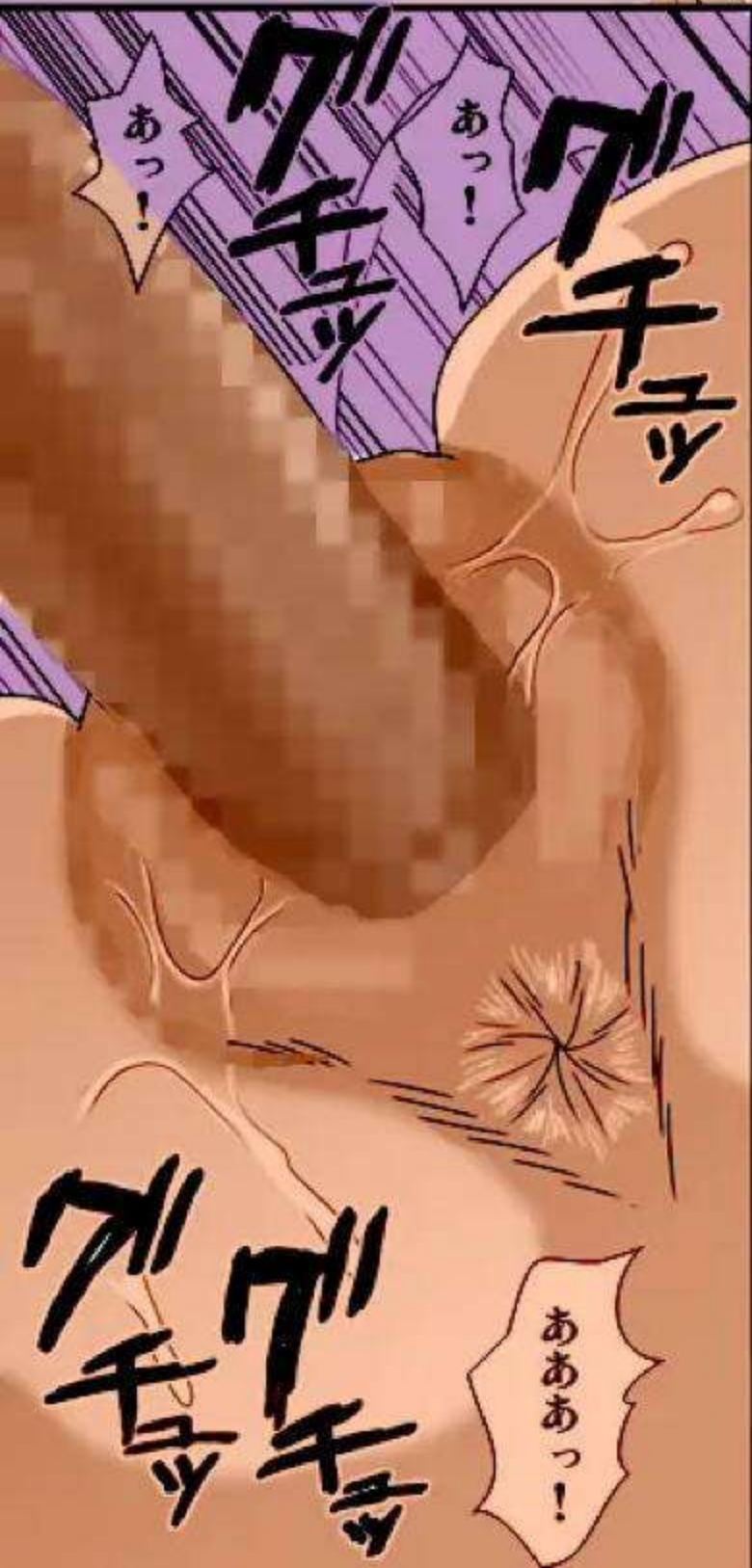
クチュツ

クチュツ

クチュツ



はあ...あっ
あ...っ



いよいよ射精の時間が近づき
オデュッセウスの腰の動きが
一段と激しさを増す…

はっ！

はっ…あっ！

膣内への射精の前兆を
感じ取ったカレンは
牝の本能に従い
より子宮に近い場所で
精液を受け止めようと
無意識のうちに
オデュッセウスの
背中に両腕を伸ばし
両足を腰に絡ませて
精が放たれるのを
待ち構える…

あっ！

あっ！



あんっ！

あっ！

あっ！



イクッ！

あっ！

イクッ！

イクッ！



アアアア

ピュッ
ピューッ

アッ





ん?
どうした?

…たぶん
大丈夫だとは
思うが

…とまあ
こうなるかもしれないわけだ

ペロ
ペロ

ネトオ...



絶対に許さんぞ
オデユツセウス!
じわじわと鬨り殺しに
してくれるわ!

この男
やはり面白い...

ジツ
ジツ
ツツ



どうかされましたか
殿下?

いや急に悪寒が…
風邪かなあ?

ブル
ブル



Thank you for your reading.